

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	5 章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち（産業・経済の活性化）			
	施策（大柱）	2 節 商業	H 20 実施計画事業費合計	103,735 千円	
	中柱	1 魅力ある商業の振興		63,452 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 経営基盤の強化		25,877 千円	
		3 環境の整備		14,406 千円	
			千円		
施策に関係する所属	商工労政課				

1)基本方針及び施策の目的

○「所沢市商業振興条例」を制定し、地域の活性化に向け、市、事業者、団体が果たす役割を明確にし、地域経済の発展に取り組む。 ○県南西部地域の商業中核都市として今後も商業集積を進める。特に、中心市街地活性化事業を強力に推進し、所沢のイメージアップと集客力の増加に取り組む。 ○消費者ニーズに対応し、地域コミュニティの中心となる商店街づくりを進める。 ○魅力ある街づくりを推進するため、商業関連施設の整備や若手事業者の育成、新規開業者の支援などに取り組む。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○魅力ある商業の振興 商工会議所、商店街などのホームページの充実やイベントなどを通じた地域情報の積極的な発信をはじめ、中心市街地の商業基盤の整備や活性化拠点施設での情報発信など、魅力あふれる街づくりに取り組む。また、地域の特性を生かした商店街づくりや、地域住民をはじめとする消費者ニーズの把握につとめる。 ○経営基盤の強化 商工業を担う若手経営者の育成や、新規開業・創業を積極的に支援する。さらに、中小企業の経営の安定化と経営基盤の強化を目的に低利の融資制度の充実をはかり、併せて経営指導の充実をはかる。 ○環境の整備 商店街が共同で設置する街路灯や駐車場の整備を支援し、大規模小売店舗の出店の際は地域の生活環境保全、交通渋滞回避など商業環境を整備する。また、物流系企業の立地や流通機能の集積を進める。

3)分野別計画、指針

○所沢市中心市街地活性化基本計画 ○所沢市産業振興ビジョン

② 施策の概要

4)関連・類似施策

○2-2市街地整備 ○2-3道路 ○2-4交通 ○5-3工業 ○5-4観光

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	228 人	27.4 %	20 位	2 位
	831 人		43 位	6 位

6)施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
商店街数	団体	54	52	49
小売事業所数（商業統計調査）	件	***	***	***
商店街振興対策事業補助金	千円	26,520	30,600	35,663

③ 優先的に取り組む事業

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
031104 商店街振興対策事業	商店街の事業達成度	商店街が実施した事業の総予算額と総決算額	千円	118,512	98,780	83.4	

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標			
【5年後の目標】年間販売額	商店街の活性化や商業施策の成果を測る指標	億円	年度	目標値	2,899	2,924	2,949	2,975	3,000	年度		
			実績値	***	***				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値	
			達成率	2,848							3,000	
【5年後の目標】中心市街地商店街の出入	街の賑わいや活性化など、商業施策の成果を測る指標	千人	年度	目標値	170,154	173,865	177,577	181,288	185,000	年度		
			実績値	実績値	157,631	140,571				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	166,442								185,000
			年度	目標値						年度		
			実績値	実績値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値
			達成率									
			年度	目標値						年度		
			実績値	実績値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値
			達成率									

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

所沢市商店街振興対策事業補助金交付要綱を全面的に見直し、商店街等の要望や時代に即した補助メニューを取り入れた新たな要綱を制定することとした。今までの要綱との主な変更点は、①新たに特色創出チャレンジ事業③共同施設整備事業（ハード事業）の補助限度額の1500万円から3000万円への引き上げ④共同事業（ソフト事業）に関する補助回数の上限（5回）の撤廃⑤高齢者や障害者の雇用を促進するため、共同事業の委託先を高齢者団体又は障害者団体に委託した場合の補助限度額の引き上げである。

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況			
中心市街地活性化拠点施設「井筒屋町造商店」の賃貸借契約の期間満了に伴い、新たな施設について所沢商工会議所と協議することとなった。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
商店街の実施する事業が定着する一方で、一部商店街において内容がマンネリ化傾向にあり、事業実施態様が目的となっている。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
若者向けの洗練された大型店であった懶丸井の閉店により、中心市街地の通行量に影響が見受けられる。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input checked="" type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向

2)平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
中心市街地活性化拠点施設運営事業	平成20年6月に新たにオープンした「中心市街地活性化拠点施設」の認知度を高める。	平成21年3月末日
所沢駐車場管理委託業務(指定管理)	平成20年度をもって現指定管理が終了するので、平成21年度からの指定管理業務を準備する。	平成21年3月末日

中心市街地活性化事業の旧「井筒屋町造商店」が賃貸借契約の満了に伴い、新たな施設として、「野老澤町造商店」が平成20年6月にオープンした。新たな「野老澤町造商店」の認知度を高めるため、その事業活動等が活発に展開できるように支援していく。

また、当市の商店街は漸減傾向にあるが、近隣市に比してまだまだ元気、やる気のある商店街が揃っているといえる。今後、我が国が高齢化社会を迎えるにあたって、高齢者が自宅から歩いて買物ができる地域の商店街の存在はますます重要になってくる。

当市としては、地域の賑わいと交流の場でもある商店街を積極的に応援し、今後とも商店街が地域の核、コミュニティの場となるように各種助成制度を充実させていく。

評価日 平成20年8月5日 記入者職氏名 市民経済部次長 仲 志津江